

ヒト由来のプロウロキナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1689

Lot. No. (See product label)

はじめに

テアーゼ (EC 3.4.21.73) です。これは、内因性の酵素活性がほとんどまたはまったくない単鎖のジモゲンであるプロウロキナーゼとして分泌されます。単鎖ジモゲンは、Lys157と Ile158の間の結合が切断されることによって、活性の二鎖酵素(tcuPA)に□換されます。活性化後、ウロキナーゼは特異的にプロ酵素プラスミノーゲンを切断して活性酵素プラスミンを形成します。活性プラスミンは、その後、血栓のフィブリンポリマーの分解を触媒します。ウロキナーゼは、フィブリノリシス、胚発生、細胞移動、組織リモデリング、排卵、創傷治癒など、さまざまな生物学的機能に関与しています。さらに、ウロキナーゼは、乳房、胃、大腸、膀胱、卵□、脳、子宮内膜に関連するさまざまなヒト癌における浸潤および転移の强力なマー

カーです。

別名 単一鎖ウロキナーゼ型プラスミノーゲン活性化因子; scuPA; ウロキナーゼ型プラスミノーゲ

ン活性化因子 uPA; PLAU

製品情報

種 人間

由来 大腸菌

形態
凍結乾燥粉末

製剤化 25 mM 酢酸ナトリウム、50 mM NaCl、pH 5.0 の 0.5 mg/ml 濃度のタンパク質溶液で、

50% グリセロールを含んでいます。

分子量 49.3 kDa

純度 > SDS-PAGEによる90%

活性 >1200 mU/mg

単位定義 1 U = 37^oCで1分間に1μmoleのZ-GGR-AMC基質を消化すること。

使用法とパッケージング

再構成 バイアルを□くスピンダウンし、水に再構成して0.5-1 mg/mlにし、-80°Cで保存してくださ

67 0

保管・発送情報

保存方法 供給された状態で−80°Cで少なくとも1年間安定しています。再構成したアリコットは−80°C

で保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルを避けてください。